

●東日本大震災からの復旧工事の推進

県南浄化センター（岩沼市）、慶長使節船ミュージアムドック棟（石巻市）、仙台港背後地（仙台市）地区内の災害復旧工事が完了するなど県内の復旧事業が進みました。また、河川海岸保全施設においては、女川湾口防波堤（女川町）では鉄筋コンクリート製のケーソンの据え付けが開始、川内沢川（名取市）では津波対応区間で堤防張りコンクリートの施工開始、高浦田海岸（七ヶ浜）では法面被覆コンクリートブロックの据付開始、戸倉海岸（南三陸町）では堤防盛土が開始されるなど着実に復旧が進んでおります。



●災害公営住宅に県内初の入居

災害公営住宅（山元町）
仙台市（北六番丁地区12戸）と石巻市（根上松地区20戸）と山元町（新山下駅周辺地区第一期18戸）の計50戸が整備完了し、4月1日に県内で初めて災害公営住宅へ入居が開始されました。



●仙石線多賀城地区連続立体交差事業が完了

当事業は、平成16年度から実施してきたJR仙石線の多賀城駅付近約1.8km区間において鉄道を高架化する平成の大規模プロジェクトの一つです（総事業費は約12.8億円）。11月17日には、整備完了記念式典が開催されました。（詳しくは本号 土木部復興トピックスをご覧ください）

●大島架橋事業に着手

1月23日には、気仙沼大橋にアクセスする道路の改良工事とトンネル工事に着手したことを記念して事業着工式が開催されました。また、9月4日には、大島架橋本体工事に着手するなど、今後、工事が本格的に稼働していきます。



●防災集団移転促進事業 宅地引き渡し

12月21日に岩沼市玉浦西地区第1期にて引き渡し式が開催されました。被災後に造成に着手した大規模な団地のうち、被災した方々に区画が引き渡しとなるのは、県内初となります。（詳しくは本号 土木部復興トピックスをご覧ください）

●「復興実感」への取組

被災者の方々が地域の復旧・復興事業の計画を把握していただけるよう「復興まちづくり事業カルテ」を関係機関と協同して作成・公表しました。また、復興まちづくりの計画と現状を伝えるため、講座の開催（東北学院大学、石巻工業高校で実施）や、仙台松島道路の春日パーキングエリアで「復旧・復興パネル展」を常設するなど、被災地の今を発信する取組を積極的に行ってきました。



●岩手宮城内陸地震からの復旧

平成20年6月14日に発生した岩手宮城内陸地震で、大規模な土石流の被害に見舞われた耕英東地区駒の湯温泉周辺の復旧事業（砂防えん堤4基、床固工3基、帯工10基からなる砂防施設群の整備）が5年の歳月を経て11月に完了しました。（詳しくは本号 土木部復興トピックスをご覧ください）

●「弘川ダム」の竣工、「長沼ダム」の試験湛水開始

平成4年度から事業を進めてきた弘川ダム（南三陸町）が4月26日に完成しました。また、昭和50年度から事業を進めてきた長沼ダム（登米市）は11月1日に試験湛水を開始し、今年度で完了する予定となっております。



●「土木部」発足から80年

宮城県土木部は、昭和8年に監理課、道路課、河港課の3課と地方11事務所からスタートしましたが、9月22日に発足80周年を迎えました。

■お知らせ■
平成26年2月7日に県庁講堂にて、「宮城県土木部発足80周年記念フォーラム」を開催します。（詳しくはURLを参照願います。<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku80-forum.html>）

●仙台空港およびアクセス鉄道の年間利用者数が300万人を記録

仙台空港は、ピーチ・アビエーションによる「仙台-大阪（関西）線」、スカイマークによる「仙台-札幌（新千歳）線」、仙台-福岡線、ハワイアン航空による「仙台-ホノルル線」、タイ国際航空による「仙台-バンコク線」などの新規就航でますます便利になっておりますが、12月には、年間の空港乗降客数が平成20年以來5年ぶりに、300万人に回復しました。また、仙台空港アクセス鉄道利用者数も300万人を超え、過去最高を記録しました。



新生宮城の発展に向けて
復興加速
復興実感
宮城県土木部
がんばるっちゃ！

○記事に関する問い合わせ○
宮城県土木部土木総務課企画調整班
HP：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>
TEL：022-211-3108 E-mail：dobokgk1@pref.miyagi.jp
バックナンバー：
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/fukou-dayori.html>

前進継続!

宮城県土木部復興だより

第13号

平成26年1月20日発行

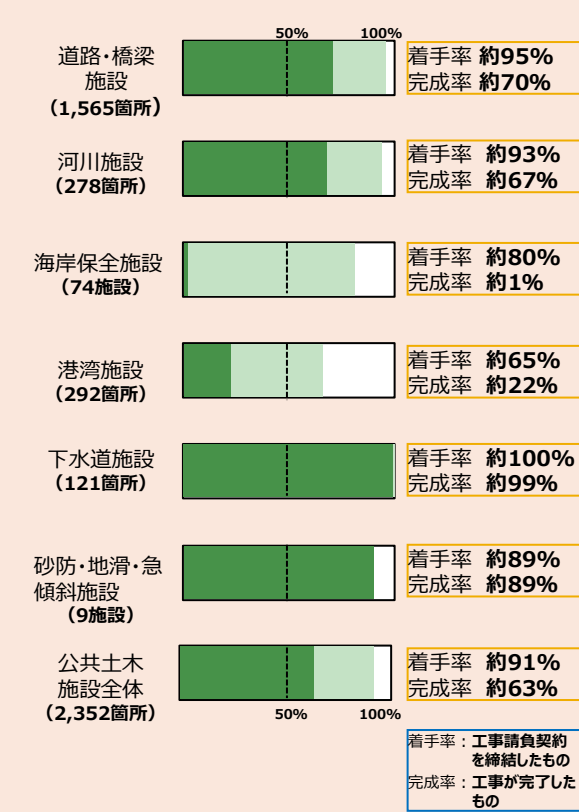
Contents

宮城県土木部の最新の復旧・復興関連ニュースを2ヶ月に一回のペースでまとめて発信しております。

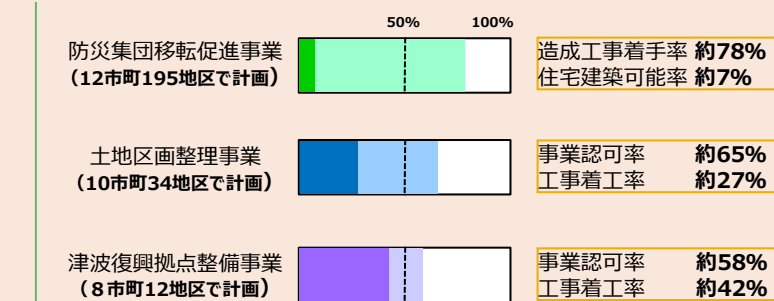
- 東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況【平成25年12月末現在】
- 土木部復興トピックス（平成25年11月中旬～平成26年1月上旬）
- みやぎの住宅・社会資本 - 2013年10大ニュース -

東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況【平成25年12月末現在】

●災害復旧工事の進捗状況



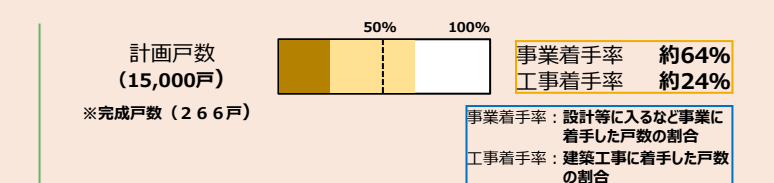
●復興まちづくり事業の進捗状況



造成工事着手率：工事請負契約の締結などが完了した地区数の割合
住宅建築可能率：事業認可が完了したなど住宅等建築工事が可能となった地区数の割合
事業認可率：事業計画が知事の認可を受けた地区数の割合
工事着手率：施工業者が事業用地内の工事に着手した地区数の割合

←被災者の方々に復興情報を接して頂く取組として、気仙沼市と南三陸町の集会所に事業進捗状況などが示された「復興まちづくりカルテ」を掲示開始しました。

●災害公営住宅の整備状況



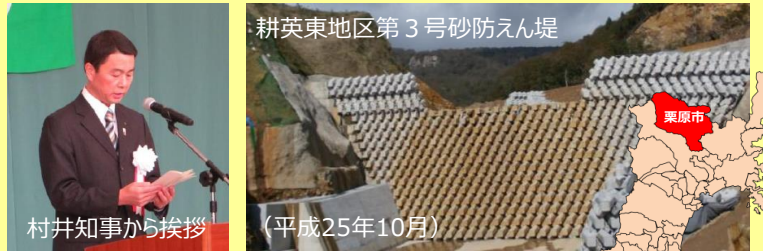
▲詳しくはURLを参照願います <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>

土木部復興トピックス（平成25年11月中旬～平成26年1月上旬）

● 11月12日

耕英東砂防激特事業完成式 開催

岩手・宮城内陸地震（平成20年6月14日）により発生した大規模な土砂崩れなどは、栗原市を中心に大きな爪痕を残しました。県では、耕英東地区において、堆積した多量の土砂が土石流となって三迫川下流域に流出することを防止するため、砂防施設群の整備を進めてきましたが、この度、整備が完成したことから、事業完了を記念するとともに、今後の栗駒地域の復興を願って完成式を開催しました。



▲詳しくはURLを参照願います

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khdbk/syunkousiki.html>

● 11月17日

仙石線多賀城地区連続立体交差事業

整備完了記念式典 開催

JR仙石線多賀城駅周辺では、踏切による交通渋滞や中心市街地の分断が、都市発展上大きな問題になっていたため、平成16年度より「多賀城地区連続立体交差事業」を進めてきましたが、この度、多賀城駅付近約1.8km区間の鉄道の高架化、駅舎部を含む施設整備が完了し、新駅舎の全面供用を開始しました。



▲詳しくはURLを参照願います

<http://www.pref.miyagi.jp/site/kouiki-sendai/tagajourenritsu.html>

● 12月4日

タイ国際航空「仙台-バンコク線」歓迎行事及び新規就航記念セレモニー 開催

タイ国際航空が東北初となる「仙台-バンコク線」を就航しました。就航期間は平成26年3月29日までとなり、仙台-バンコク間を週3往復運航します。（仙台空港発：水・金・日曜日）



● 仙台空港 運航状況（平成25年12月4日現在）

国内線	往復数（/日）	国際線	往復数（/週）
札幌	18往復	ソウル	4往復
成田	2往復	グアム	4往復
小松	2往復	ホノルル	3往復
名古屋（中部）	7往復	（新千歳経由）	
大阪（伊丹）	17往復	台北	2往復
大阪（関西）	2往復	バンコク	3往復
広島	2往復	大連/北京	運休中
福岡	8往復	上海/北京	運休中
沖縄（那覇）	1往復	長春	運休中

● 11月13日

「生コンクリート仮設プラント設置事業に関する履行協定」締結

本事業は、本格化する復旧・復興事業に資材を円滑に供給する対策として、民間事業者が県との協定に基づいて生コンクリートの仮設プラントを設置し、指定された複数の災害復旧工事に生コンクリートを供給する事業です。この度、気仙沼及び東部土木事務所管内においてプラント事業者と履行協定を締結したので、今後はプラント稼働に向けて関係市町と連携し事業を推進していきます。



▲詳しくはURLを参照願います

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/namaco/npurantzogyou-rikoukyouteiteiketu.html>

● 12月4日

新造コンテナ専用船「さがみ」就航・初入港 歓迎式典 開催

新造コンテナ専用船「さがみ」は、積載能力が404TEU積まで可能（内航コンテナ船として国内最大）で、京浜から東北を経由して苫小牧まで運航します。国際コンテナ戦略港湾である京浜港との連携が強化されることにより、仙台塩釜港の国際競争力のさらなる向上が期待されます。



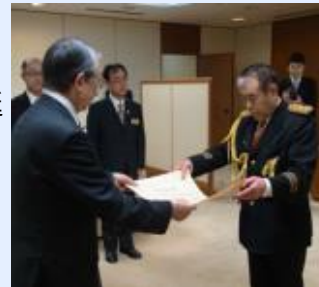
▲詳しくはURLを参照願います

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kouwan/sagami.html>

● 12月13日

栗原市消防団が「水防功労者」受賞 伝達式開催

昨年7月の豪雨により栗原市内各所で土砂崩れや、河川の氾濫による浸水被害が発生しましたが、栗原市消防団は、延べ419名の団員が4日間にわたり土のう積み等の水防活動等に当たり被害の軽減に大きく貢献しました。このことが国土交通大臣に認められ「水防功労者」として表彰されました。



㊤三浦副知事から ㊦坂本消防団長に表彰状が伝達されました

● 12月21日

南三陸町 防災集団移転促進事業造成工事「戸倉地区藤浜団地」竣工式 開催

戸倉地区の藤浜団地には、約1ヘクタールに10戸の住宅の他、集会所が建設される予定です。今年度末を目処に土地が引き渡され建築工事が開始されます。



● 12月22日

仙台北部道路全線開通 富谷IC開通式 開催

仙台北部道路は、利府JCTを起点とし国道4号までの13.5kmの自動車専用道路です。この度の供用開始により仙台北部道路と国道4号が直結し仙台都市圏の東西交通軸が強化され、本県全体の産業や観光振興に大きく寄与するとともに、被災地の早期復興の弾みとなるものと期待されます。



今回供用区間
・富谷IC～富谷JCTまでの1.7km



※富谷ICから東北自動車道への流入・東北自動車道から富谷ICへの流出はできません。

▲詳しくはURLを参照願います

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/road/sendaihokubudourokai/tuusiki.html>

● 12月19日

「第1回 仙台東部地区道路ネットワーク検討会」開催

本県沿岸部では、三陸自動車道や常磐自動車道などの整備が進められており、今後は沿岸部と仙台都市圏間の高規格道路を利用した交通需要の拡大が見込まれます。震災後の状況を踏まえて、仙台東部地区の道路ネットワークの円滑なアクセス策について、今後も継続的に検討を進めていきます。
関係機関：国交省東北地方整備局、宮城県、仙台市、NEXCO東日本



● 12月21日

岩沼市 防災集団移転促進事業「玉浦西地区第1期宅地引渡し式」開催

岩沼市では、被災6集落が新たに造成する玉浦西地区と区画整理組合の保留地である三軒茶屋西地区に集団移転を行います。玉浦西地区には、336戸（自己建築158戸、災害公営住宅178戸）の住宅が建設される予定です。



● 12月25日

被災市街地復興土地区画整理事業 七ヶ浜町4地区の認可書交付式 開催

宮城県内では、10市町34地区で土地区画整理事業が計画されていますが、この度、七ヶ浜町の草蒲田浜、花洲浜、代ヶ崎浜A、代ヶ崎浜B地区で事業が認可されました。



㊤遠藤土木部長から ㊦渡邊町長へ事業認可書が手渡されました

▲詳しくはURLを参照願います

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukumachi/kukakuseirijyoko.html>